

総務常任委員会 摘 録

1. 開催日 令和8年3月13日(金) 第2委員会室
2. 出席委員 五島誠委員長 松本みのり副委員長 谷口隆明 横路政之 堀井慎一郎 桜田亮太
3. 欠席委員 なし
4. 事務局職員 植木佳那子議会事務局主事
5. 説明員 なし
6. 傍聴者 なし
7. 会議に付した事件
 - 1 所管事務調査報告書について
 - 2 その他

午後4時02分 開 議

○五島誠委員長 ただいまより総務常任委員会を開会します。ただいまの出席委員は6名です。よって直ちに本日の会議を開きます。本日の会議において傍聴、写真撮影、録音、録画を許可しております。

1. 所管事務調査報告書について

○五島誠委員長 本日の協議事項1点目といたしまして、現在皆様に素案として、所管事務調査報告書の中間報告を配付させていただいております。表現的にニュアンスが曖昧なものについては、皆様から御意見がありましたらお伺いしておきたいと思っております。よろしいですか。それではまず、「はじめに」のところですが、今回、測量設計コンサルタント業務について主に調査をさせていただきましたので、そこに至った経緯を載せさせていただこうと思っております。それから4番の「総括及び提言」については、提言の部分が少し文章に埋もれた形になっておりますので、市内本社のみを対象とした入札については、物価高騰や社会情勢など鑑みて、金額について引き上げていくということ。それから、市内事業所を持つ業者に対して課せられている受注制限は取り払うこと。公契約条例の第6条、市内事業者の受注機会の確保を定めた条文ですが、これをしっかりと確保していくことを提言させていただきたいと思っております。また、品質の確保を定めた第12条も鑑みて、現在、ヒアリング等で明らかになったのは、物価高騰や人件費の増加の影響が非常に大きいところ。そこを執行者側もしっかりと鑑みて、当然、国・県も含めてそうした考え方は持っているのですが、なかなかこの物価高騰のスピードなどに現在の積算金額が追いついていないような状況があります。それがしっかりと予定価格、最低制限価格に反映されたと感じられるような改定を求めたいと思っております。以上3点を提言させていただく予定としております。まとめといたしまして、目的を定めた第1条、それから先ほど挙げました第6条、第12条の中にもありますとおり、受注機会の確保と品質の確保を両立していくためには、やはり何といたっても市内の事業者に対する保護、業者育成の観点が大変必要な部分です。その観点を持って今後の制度見直しを行っていくことが、平時はもちろん災害などの非常時において、本市の安心安全な暮らしを守るためにも必要であるという思いをつけて、委員長報告と

させていただきたいと思います。文言整理等、しっかりと正しい日本語に変えて、23日の最終日に委員長報告をさせていただく予定としておりますので、よろしくお願いいたします。皆様からまだ何かありましたらお伺いしておきたいと思いますが、よろしいですか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○五島誠委員長　それではそのようにさせていただきますので、よろしくお願いいたします。

2 その他

○五島誠委員長　では協議事項、その他お持ちの方がありましたらお伺いしておきたいと思いますが、よろしいですか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○五島誠委員長　次回委員会等につきましては、年度が変わり体制が変わった後に執行者とも打ち合わせをして、皆様とまた調整をさせていただこうと思いますので、よろしくお願いいたします。それでは以上で総務常任委員会を散会いたします。

午後4時06分　散　会

庄原市議会委員会条例第30条の規定により、ここに署名する。

総務常任委員会

委員長